

村立幼稚園の再編に伴う

お子さんの入園に関する個別相談窓口を開設しました

村では、「村立保育所、幼稚園等に関する整備計画」の見直しに伴う村立幼稚園の再編(村松幼稚園への統合)に向け、お子さんの年齢や保護者の就労状況に応じた保育施設の利用や通園に対する不安などに対し、個別の相談内容に応じた適切な対応ができるよう、専用の相談窓口を開設しました。

相談を希望される方は、相談窓口お問い合わせフォーム(※<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/soshikikarasagasu/fukushibu/kosodatechienka/4/2/5433.html>、右QRコードよりアクセス可)または電話で、申し込みください。



《相談の流れ》

相談窓口お問い合わせ
フォーム

電話

相談内容について、ご希望の方法(面談・電話・メール)で回答します。面談を希望する方には、別途、面談日を連絡します。

見直し後の「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画」および村立幼稚園の再編に向けた進捗状況については、村公式ホームページや子育て応援ポータルサイト「のびのび子育て帳」(右QRコードよりアクセス可)で随時お知らせします。



【申し込み・問い合わせ】子育て支援課計画推進・施設担当(☎282-1711 内線1188)

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



人との“縁”を大切に
子どもたちの成長を見守り続けます

保育者となって長い年月が過ぎ、その間さまざまな幼児施設で勤務してきました。たくさんのお子さんたちから元気な声や笑顔、幼児教育に携わっていることに喜びを感じています。

「保育は人となり」。この言葉は私が尊敬する先輩から言われた言葉です。保育の仕事は「人を育てる」という大切な要素があるため子どもたちの良いお手本になることが求められます。また、自分の言動・物事に対する価値観などが子どもたちに大きく影響します。

保育者としての働き始めた頃は無我夢中で毎日が慌ただしく過ぎていきました。たくさんのお子さんたちや、保護者との出会いに恵まれ、楽しく充実した毎日でした。もちろん、楽しいことばかりではなく失敗や挫折もたくさん経験してきました。保護者対応が難しく、自分から積極的に話しかけるものの、うまく自分の思いを伝えることができず悩んだ時期もありました。そんな自分でも保護者の皆さんは優しく温かい目で見てください、たくさん協力をお願いしました。そのおかげでんだんと「大事なお子さんを預かっていく」という責任感も芽生えてきました。

保育の現場では、学校で習った知識だけでは対応できないようなことが起きます。その時に臨機応変に対応できる判断力や行動力は、経験を積むことや周りの人の話を聞くことから身に付けていくと感じています。信頼し合える仲間ができたこと、そして共に困難を乗り越えたときの感動を味わえたことは、私にとってかけがえのない経験です。今振り返ってみると、人との「出会い」や「縁」は本当に大切なものだと思います。私はこれからも人との調和を大切に、未来ある子どもたちを見守り続けていきたいです。

舟石川保育所
林博子 主任保育士